



Crystal Reports Basic for Visual
Studio 2008 リリース ノート



著作権

(C) 2007 Business Objects. All rights reserved. Business Objects は、米国特許 5,555,403、6,247,008、6,289,352、6,490,593、6,578,027、6,768,986、6,772,409、6,831,668、6,882,998、および 7,139,766 を所有します。これらにより、Business Objects が提供およびライセンス供与する製品は保護されます。Business Objects および Business Objects のロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Xcelsius、Crystal Decisions、Intelligent Question、Desktop Intelligence、Crystal Enterprise、Crystal Analysis、Web Intelligence、RapidMarts、および BusinessQuery は、米国やその他の国における Business Objects の商標または登録商標です。記載されているその他すべての会社名および製品名は各社の商標です。

サードパーティ協力企業

このリリースの Business Objects 製品には、サードパーティ協力企業が使用を許諾しているソフトウェアの再配布が含まれている場合があります。これらのコンポーネントには、代替ライセンスに基づいて使用できるものも含まれます。使用の承認を要求している協力企業や許可している企業、また通知を要求している企業の一部をまとめたリストは、<http://www.businessobjects.com/thirdparty> で確認できます。

このリリース ノートについて

このドキュメントに含まれるリリース ノートには、インストールの問題、ワークフロー(使用)に関する問題、表示に関する問題、データ関連の問題など、この製品リリースに関する重要な情報が含まれます。関連する回避策も記載されています。

Business Objects ソフトウェアをインストールする前に、このドキュメントをお読みください。このドキュメントのリリース後に、注意事項や情報が追加で提供される場合があるため、必ず Business Objects のサポート Web サイトを参照してください。

<http://support.businessobjects.com/documentation/>

移行

アプリケーションのコード内で設定されているパラメータの入力プロンプトが表示される

アプリケーションを移行した後でレポートを最新表示すると、コード内のパラメータの値が取得されずに、パラメータの値を求めるプロンプトが表示されます。パラメータのプロンプトを無効にするには、CrystalReportViewer コントロールで `ReuseReportParameters.OnRefresh` を `false` に設定します。

空文字列を使用して SelectionFormula をクリアする

レポートにすべてのレコードを表示するようにビューアの選択式を設定するには、null 文字列ではなく、空文字列を使用します。null 文字列では、元のレポート選択式を上書きできません。空文字列は、"" または `String.Empty` で指定できます。null 文字列は、`null (C#)` または `Nothing (Visual Basic)` で指定できます。

移行後のレポートでチャート オブジェクトと OLE オブジェクトが表示されなくなる

Visual Studio 2002/2003 から Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 にプロジェクトを移行した後、チャート オブジェクトと OLE オブジェクトが正しく表示されない場合があります。

回避策

web.config ファイルに CrystallImageHandler への参照を追加します。

```
<httpHandlers>  
<add verb="GET" path="CrystallImageHandler.aspx"  
type="CrystalDecisions.Web.CrystallImageHandler,  
CrystalDecisions.Web, Version=10.5.3700.0,  
Culture=neutral, PublicKeyToken=692fbae5521e1304"/>  
</httpHandlers>
```

Crystal Reports 固有の web.config 要素の詳細については、『『Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 開発者ガイド』』を参照してください。

Visual Studio 2005 の最新のサービス パックが必要な場合

Crystal Reports for Visual Studio 2005 および Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 の両方がインストールされているマシンでは、アプリケーションの終了時に Visual Studio 2005 が失敗する場合があります。

回避策

Crystal Reports for Visual Studio 2005 の最新のサービス パックをインストールします。最新のサービス パックは、<http://support.businessobjects.com/> から入手できます。

データ ソースへの接続

データベースの変更時にはデータベーススキーマを一致させる必要がある

ランタイムでテーブルの場所を別のデータベースに変更する場合、元のレポートで使用されているのと同じ名前のテーブルが新しいデータベースにあることを確認してください。テーブルの名前が一致しない場合は、接続が失敗します。

データベース変更後の照合

ReportDocument.DataSourceConnections、Table.ApplyLogOnInfo()、または Table.Location 関数を使用してデータベースを変更した場合は、レポートを表示する前に、ReportDocument.VerifyDatabase() を使用してデータベースを照合する必要があります。

ログオンが不要な場合に VerifyDatabase() メソッドが例外をスローする

ReportDocument.VerifyDatabase() メソッドを使用するコードによってデータベースを照合すると、例外がスローされる場合があります。この問題は、Access または ADO.NET など、データベース ログオンが不要な厳密に型指定されたレポートクラスを使用した場合に発生します。

回避策

VerifyDatabase() メソッドを呼び出す前に、SetDatabaseLogon() メソッドを呼び出します。以下はその例です。

```
ReportDocument rpt = new ReportDocument();  
rpt = new StrongReportClass();  
rpt.SetDatabaseLogon("", "");  
rpt.VerifyDatabase();
```

IDataReader はデフォルトで1つのテーブルのみをサポートする

データソースがそれぞれ IDataReader に設定されている複数のテーブルを含むレポートを表示し、それらのテーブルの多くが相互にリンクされていると、「無効なデータベース引数です。」というエラーメッセージが表示される場合があります。IDataReader からの SetDataSource() の呼び出しは、テーブルを1つだけ含むレポートでのみサポートされます。

回避策

複数のテーブルで IDataReader を使用する場合は、必要なフィールドを選択する1つのコマンド テーブルを使用してレポートを作成します。

印刷およびエクスポート

Web フォームからの印刷時にエラーが発生する

Web フォーム アプリケーションから ActiveX で印刷を行うと、エラーが表示される場合があります。

回避策

Web サイトの URL を各 Internet Explorer クライアントで信頼済みサイトリストに追加します。

プログラムによって印刷を行うには ASP.Net アカウントでプリンタが有効にされている必要がある

ASP.NET アカウントにプリンタが設定されていない場合、Web フォームでは、`report.PrintToPrinter` メソッドが例外をスローします。

回避策

ASP.NET アカウントにプリンタを追加するか、プリンタを持つユーザーを偽装します。

Web サイト

複数の依存関係を持つレポートにレポート データが正しく表示されない

CrystalReportSource タグの DataSource タグが複数の依存関係を持つオブジェクトにバインドされている場合、ビューアでページが初めて読み込まれる際にデータが正しくフィルタ処理されません。

回避策

アプリケーションの Page_Init() メソッドまたは OnInit() メソッドで、control.DataBind() を呼び出します。ここで、「control」は、DataSource のバインド先のコントロールです。

選択式変更後のレポートの最新表示

実行時に Web フォーム ビューアの SelectionFormula プロパティを変更した場合は、[最新表示]をクリックするまで新しいデータ セットが取得されません。

回避策

新しい選択式を使用してレポートを最新表示し、レポートを表示するには、ReportDocument.Refresh() を呼び出します。

IEnumerable にキャストされたデータセットが null 値をサポートしない

SetDataSource は、IEnumerable オブジェクトにキャストされて厳密に型指定されたデータセットが NULL 値を含む場合、これをサポートしません。

回避策

IEnumerable を DataTable に変換し、SetDataSource(DataTable) を使用します。

実行時に SelectionFormula を設定できない

ビューアのビュー リストを使用している場合は、実行時に Web フォーム CrystalReportViewer で SelectionFormula プロパティを設定できません。

回避策

SelectionFormula プロパティを設定した後で、再度ビューアの ReportSource を設定し、ビュー リストをクリアします。

Web パーツがフォーカスを失う

Web フォーム ビューアがデータベース ログオンの必要なレポートにバインドされており、データベース ログオンのプロンプト ページを表示する Web パーツを実行時に最小化すると、「コントロールにフォーカスを移動できません。このコントロールは非表示または無効であるか、フォーカスを受け入れないタイプです。」というエラー メッセージが表示される場合があります。

回避策

データベース ログオンが表示されるように、Web パーツのサイズを元に戻します。

Windows Vista で静的イメージが表示されない

Windows Vista のデフォルト インストールに導入されている Crystal Reports Web プロジェクトでは静的イメージが表示されません。この問題は、ターゲット マシンですべての IIS コンポーネントが有効にされる前に Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 をインストールした場合に発生します。

回避策

Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 をインストールする前に、ターゲット マシンですべての IIS コンポーネントを有効にします。

既に Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 をインストールしてある場合は、次の手順を実行して問題を解決できます。

- 1 必要なすべての IIS コンポーネントをインストールします。
- 2 ターゲット マシンで IIS を有効にします。
- 3 コマンド ラインから次のコマンドを実行します。

```
C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\aspnet_regiis.exe -c
```

ASP ファイルにスタイル シートへの複数の参照がある

CrystalReportViewer コントロールを Web フォームに追加したり、別の場所に移動すると、ASP ファイルに Crystal Reports スタイル シートへのリンクが追加されます。これにより、同じ CSS ファイルへのリンクが複数作成されます。

回避策

Web フォーム アプリケーションで CrystalReportViewer コントロールを追加または移動した後、コードビューに切り替えて、追加された不要なリンクを削除します。CSS ファイルへのリンクは少なくとも 1 つ必要です。

XML 関連の問題

複数のフィールドを XML テーブルのサブ コンポーネントに再マッピングできない

フィールドを XML テーブルのサブ コンポーネントに再マッピングすることはできません。複数のフィールドを XML テーブルにマップすると、ターゲット テーブルの最上レベルの列だけが表示されます。

XML データでレポートを作成する際にサーバーでグループ化できない

XML インスタンスフィールドに基づいてサーバーで「グループ化」を実行すると、「XML メソッドでは group by 句を使用できません。」という MS SQL サーバー エラー メッセージが表示される場合があります。

回避策

レポートで[サーバー上でのグループ化の実行]を無効にします。

論理値または整数値で等号演算子を使用できない

論理値の XML インスタンスフィールドに基づくレコード選択式を含むレポートを表示すると、「演算子 = は、xs:boolean および xs:integer オペランドに適用できません。」というエラー メッセージが表示される場合があります。

レポートに複合型データの XML 階層が表示されない

XML フィールドに複合型のコンテンツのみまたは属性が含まれる場合、レポートにそのフィールドの階層構造が表示されません。

フィールド エクスプローラに一部の文字列型が表示されない

特定の XML 文字列型の XML インスタンスがフィールド エクスプローラに表示されません。これらの XML 文字列型は次のとおりです。

- ・ token
- ・ language
- ・ NMTOKEN
- ・ Name
- ・ ID
- ・ NCName
- ・ anyURI

XML テーブルには一意のインスタンス フィールド名が必要

複数の XML インスタンス フィールドが同じインスタンス名を持つような XML テーブルに基づくリンク レポートを表示すると、「関連名が FROM 句で複数回定義されています。」というエラー メッセージが表示される場合があります。

特定の言語に関する問題

Access を使用し、トルコ語の地域設定を使用しているレポートに問題が発生する

オペレーティング システムの地域設定がトルコ語に設定されている場合は、エラー メッセージが表示される可能性があります。この問題は、ODBC 経由の AccessDB に

基づくコマンドを使用してレポートが作成され、テーブル行の名前に大文字小文字が混在している場合に発生します。

Shift-JIS エンコードがサポートされない

Shift-JIS でエンコードされている日本語文字は、Visual Studio 2002/2003 から Visual Studio 2005/2008 に移行した ASP.NET Web アプリケーションで正しく表示されません。移行する前に、すべての ASPX ページを UTF-8 に変換してください。

アクセシビリティの問題

スクリーンリーダーからズームを使用できない

スクリーンリーダーを使用している場合は、キーボードを使用して Windows フォーム CrystalReportViewer のズームリストを有効化できません。

キーボードから一部のツールバー オプションにアクセスできない

Windows フォーム CrystalReportViewer では、Tab キーを使用して一部のツールバー ボタンに移動できません。

回避策

他のツールバー ボタンに移動するには、矢印キーを使用します。

JAWS スクリーンリーダーがグループ ツリー名を読み上げない

JAWS スクリーンリーダーは、Windows フォーム ビューア内のグループ ツリーのグループ名を読み上げません。

回避策

Tab キーを押してツールバーに移動し、もう一度 Tab キーを押してグループ ツリーに戻ります。強調表示されているグループ名が読み上げられます。

Visual Studio 2008 のサンプル アプリケーションが開かない

Windows Explorer から Crystal Reports Basic for Visual Studio 2008 製品インストールに含まれている Crystal Reports サンプル アプリケーションを開くことができません。

回避策

[Diamond Online Developer Community](#) から最新のサンプル アプリケーションをダウンロードしてください。

ソリューション ファイルは、Visual Studio 2008 の[ファイル] > [開く] > [プロジェクト/ソリューション]メニューから開くこともできます。